

タイムスケジュール

13:00 開会の言葉／主催者挨拶（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

【事例発表】 50 分

13:15 近藤ファーム
「東京都産野菜の都内学校給食への普及」

13:30 岩手県学校栄養士協議会
「学校給食を通じて伝えたい地域の魅力
～地場産物を活用した取り組みについて～」

13:45 滝沢市学校給食食材生産供給組合
「生産者・調理員・滝沢市みんなでつなげる学校給食」

14:00 気仙沼の魚を学校給食に普及させる会
「持続可能な水産業と魚食普及への取組について」

休憩

【パネルディスカッション】 60 分

「地場産を活用する上での課題と解決手法について」

14:15 パネラー
事例紹介 4 団体

14:30 コーディネーター
関東学院大学 理工学部 佐藤 幸也 教授

14:45 東北大学大学院情報科学研究科博士課程（後期）修了、博士（情報科学）
農林水産業、厚生労働省等委員を歴任。
主な研究分野：社会学（地域社会論、農村地域政策・協同組合論）
教育学（教育政策、社会科教育、食農教育論）



15:00

学校給食 シンポジウム

～地場産物の使用拡大に向けて～



開催日：2021 年 11 月 13 日（土）

主催：農林水産省 協力：第 16 回食育推進全国大会岩手県実行委員会

事例発表

近藤ファーム

東京都
瑞穂町

東京都産野菜の都内学校給食への普及

日本一農地も農家も少ない東京都、農地が全くない行政区も多数存在します。
そのなかで、東京都内北西にある西多摩郡瑞穂町にてスタッフ平均年齢二十歳代という若い力を結集し、都内広範囲の学校給食に東京都産の野菜を出荷している当園の取組みを紹介します。



滝沢市学校給食食材生産提供組合

岩手県
滝沢市

生産者・調理員・滝沢市 みんなでつなげる学校給食

「子供たちに滝沢の農産物を食べてもらいたい」という思いで、平成 15 年に届ける会という団体を農家のお母さん達が立ち上げました。
その後、平成 22 年の生産組合結成以降、学校給食センターと意見交換し、使用品目の拡大と安定した供給に努めてきました。学校給食を通して、地場農産物と子どもたちをつなぐ活動をしています。



岩手県学校栄養士協議会

岩手県
盛岡市

学校給食を通して伝えたい地域の魅力 ～地場産物を活用した取組について～

私たち栄養士は、学校給食を通して、子どもたちに地域でとれる農林水産物を知ってもらい、自分たちの住む地域の理解につなげたいと考えています。
地場産物を活用した給食とそのために市町村や生産者等と連携して行っている取組を紹介します。



気仙沼の魚を学校給食に普及させる会

宮城県
気仙沼市

持続可能な水産業と魚食普及への取組について

気仙沼の魚介類を学校給食に普及させる活動を行っています。
その活動の一つで気仙沼が水揚量日本一であるメカジキを使用し、当会で開発した商品を宮城県内の小中学校の学校給食に提供しています。また、全国の小学校で、気仙沼の漁師の講話や、当会の web ソフトを活用し、「気仙沼の魚を美味しく食べられる幸せ」をテーマに授業を行い、魚食文化を維持することの大切さを伝えています。

